

□■養成所ニュースプラス第 39 号 2024□■

今日から 3 月、能登半島地震から 2 か月となります。今でも 2 万戸で断水し、1 万人以上の方が避難を余儀なくされています。3 月 11 日には東日本大震災から 13 年となります。共通科目テキスト 6「地域福祉と包括的支援体制」第 6 章は、「災害時の支援について考える」内容になります。ソーシャルワーカーとして、地域で暮らす住民として、感じ考える機会にしてください。

■Yoseijo Info

- ・【重要】令和 6 年能登半島地震に被災された受講生の皆様へ

大変な状況と存じます。まずは日常を取り戻すことを最優先してください。連絡できる状況になり、今後の学習についてご不安等ございましたら、ご相談ください。

- ・(34 期生) 住所変更後、変更届を提出していない場合はご提出ください。

- ・(35 期生) 教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の支給希望の方へ

申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。

本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。

- ・受講の手引の表紙裏（表紙の次のページ）に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。

レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。

■Test Info

国家試験に関する情報をお届けします

- ・第 35 回国家試験合格発表は、令和 6 年 3 月 5 日（火）です。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1233069&c=3246&d=99c7>

- ・日本ソーシャルワーク教育学校連盟より、国家試験過去問題掲載のご案内です。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1233070&c=3246&d=99c7>

※国家試験を受験するにあたっての「修了見込証明書」の差し替えについては、本養成所にてまとめて行いましたので、問い合わせや試験センターへの提出は必要ありません。

※国家試験合格発表後、本養成所よりアンケートをお送りいたします。アンケート集計結果は、厚生労働省に提出するため、必ずご回答をお願いいたします。

■Plus Info

その他の情報をお届けします

- ・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1233071&c=3246&d=99c7>

- ・本養成所では、皆さんの後輩にあたる第 36 期生の出願を受け付けております。

現在、4 期（最終）募集を受付中です。皆さんの周りで社会福祉士取得を目指している方、関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非とも本養成所をご紹介しますようお願いいたします。

出願手続き等についてはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1233072&c=3246&d=99c7>

資料請求についてはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1233073&c=3246&d=99c7>

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1233074&c=3246&d=99c7>

■Plus Column

【4 学期のレポート課題について】

4 学期に入り印刷教材学習のゴールが見えてきました。20 本近いレポートを繰り返すうちにまとめることが苦でなくなってきたという声も届きます。しかし、なかなか苦戦している方もいることと思います。今学期のレポート課題のポイントを確認していきます。

まずは、レポート課題の提示です。「地域福祉と包括的支援体制 2」と「児童・家庭福祉」「高齢者福祉」は 2 つの課題から一つを選びます。他の 3 科目は、4 学期のレポート課題であることを確かめてから書き始めましょう。

次に、引用・参考文献についてです。2 学期担当の先生からも、無断の引用は剽窃になることや引用・参考文献が明確に示されていないという指摘がありました。剽窃は許されない行為です。ルールに則った対応をしてください。「地域福祉と包括的支援体制 2」では、テキストの該当箇所を「参考に」、「ソーシャルワークの理論と方法（専門）2」では、「テキストをよく読んで」とあり、引用・参考文献欄に忘れずに記入することが必要になります。

今学期は、説明を求めている課題が「社会保障 2」を含めると 4 課題あります。「レポート作成のポイント」には触れるべきポイントが挙げられていますので、取りこぼさないように点検しましょう。ポイントが多くて 1,200 字に入りきらないという話も聞きます。テキストの文章をそのまま写していくとどうしても字数が多くなります。重要な点をまとめるようにするとスリム化できます。

一方、皆さんの考えを述べる課題は、4 課題です。「高齢者福祉」の課題番号 2 では「具体的に」、「ソーシャルワークの理論と方法（専門）2」では「具体例」をあげることであります。「地域福祉と包括的支援体制 2」課題番号 1 では、「自身の実践での支援対象者や自身が希望する実践での支援対象者が被災した状況でのニーズ」を論じることとあり、「ソーシャルワーク演習（専門）3」の相談援助事例は、「実習や日々の実践での経験を踏まえて述べること」とあります。この機会に自身の経験を言葉にしてください。テキストの記述を書き写すだけでは、求められている課題を理解しているとは言えません。

そして、「地域福祉と包括的支援体制 2」課題番号 2 では、「住民参加の方法」の提案が求められています。「レポート作成のポイント」には作成の手順が示されていますので、よく読んでから取り掛かりましょう。

4 学期のレポート提出期間は、4 月 15 日から 22 日当日の消印有効となります。年度終わり、年度初めが忙しくなる方、新しい職場に異動する方は、特に早め早めにテキストの精読とレポート作成を進めましょう。4 学期を乗り越えれば、修了というひとつ目のゴールが見えてきます。

※科目名については、丸数字が文字化けするため算用数字で記載しています。

■次回の養成所ニュースプラスの配信は、3 月 22 日頃を予定しています。修了生の方も事務連絡等ありますので、今しばらくおつきあいください。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus